

令和5年7月教育委員会定例会議 議事録

開会日時 令和5年7月27日（木） 午後3時00分

閉会日時 令和5年7月27日（木） 午後4時02分

場 所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席者 教育長 安藤 直哉

教育委員 岡田 京子 千野 智子 上原 三十三 小出 義信

説明のため出席した職員

二村教育部長 小田教育監 鈴木教育政策課長 酒井施設課長 熊谷学校指導課長  
田中社会教育課長 宇都木教育相談センター所長 伊豫田教育政策課副課長

議事録指定職員

早川教育政策課総務政策係係長 猪飼教育政策課主査

日程

日程第1 その他

重要文化財の指定に伴う岡崎市指定文化財の指定解除について

日程第2 報告第1号

工事請負の契約の変更の専決処分について

日程第3 第19号議案

教科用図書の採択について

日程第4 第20号議案

教科用図書採択地区について

（議題等及び議事の要旨）

安藤教育長

議事に入る前に、日程第3、第19号議案「教科用図書の採択について」及び、日程第4、第20号議案「教科用図書採択地区について」は、教育委員会会議規則第8条第1項第4号の規定により、秘密会として審議することを発議し賛成委員の挙手を求める

挙手（全員）

安藤教育長

秘密会として審議することを決定

## ■日程第1 その他

重要文化財の指定に伴う岡崎市指定文化財の指定解除について

社会教育課長 議案書等により「重要文化財の指定に伴う岡崎市指定文化財の指定解除について」を説明

安藤教育長 質疑を許可  
(質疑なし)

## ■日程第2 報告第1号

工事請負の契約の変更の専決処分について

施設課長 議案書等により「工事請負の契約の変更の専決処分について」を説明

安藤教育長 質疑を許可  
(質疑なし)

## ■日程第3 第19号議案

教科用図書の採択について

(秘密会)

(※教科用図書の発行者名は、別添の略称表を参照してください。)

安藤教育長 第19号議案については、上原委員が地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定に該当し、この審議に参加することができないため退室を求める。  
(上原委員退室)

学校指導課長 議案書等により「教科用図書の採択について」の概要説明

安藤教育長 小学校の教科書について、種目名ごとに協議を行うことを説明。国語の教科書について、西三河教科用図書採択地区協議会（以下、「協議会」と言う。）が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員 「単元の進め方の提示」というところで、東京書籍は、5段階に「思い出そう、見通す、取り組む、ふり返る、生かそう」という構成になっており、学びの流れに見通しをもち、学習を重点的に進めていくことができるという点が魅力的に感じた。また、他の教科書も単元ごとの構成になっているが、学習の系統性という観点には弱さを感じ、東京書籍が適していると考えた。

委員 東京書籍に関しましては、「表記」という面において、他社の教科書より優れていると思う。行数についても、何行目かが追いやすいドットでの表示があり、教育現場では有効であると感じ

た。また、配置も工夫されていることから、東京書籍の教科書がよいと思う。

委員

「iPadの活用」という点では、3社の教科書ともQRコードが各単元に用意されているが、配置の状況からすると、東京書籍が上手いと感じる。内容においても東京書籍は他社と比べると、動画や資料の質や量的な強みも感じるため、東京書籍が適していると考ええる。

安藤教育長

国語の教科書について、協議会が選定した東京書籍を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

国語の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

書写の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

「学習の進め方」という点においては、東京書籍は、「書写のかぎ」という項目で学びのポイントを示すとともに、「見つけよう、確かめよう、生かそう、ふり返ろう、生活に広げよう」という5段階で示されている。東京書籍は、このポイントが授業を進めるうえでは、価値が高いと感じる。

委員

「技能の身に付けやすさ」という面においては、東京書籍も筆先のイラストを用いて、視覚的に示している。東京書籍は、視覚情報に加え、筆を止める部分は「ピタ」、筆を走らせる部分は「すう」といったオノマトペを効果的に用いており、子供が筆遣いを音感的にイメージしやすくしている。子供の意欲を引き出すとともに、技能の身に付けやすさを高めていくことができる。以上の点から、東京書籍が適していると考ええる。

委員

先ほども「書写のかぎ」という観点が出たが、「学びのポイント」を分かりやすくしてあり、子供が空欄部分にそのポイントとなる言葉を書き込むことができるようになっている。学習すべきことを明確化したり、焦点化したりすることができることから、東京書籍の良さがある。

安藤教育長

書写の教科書について、協議会が選定した東京書籍を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

書写の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

社会の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

東京書籍は、「つかむ 調べる まとめる いかす」の段階を各単元において設定しており、新学習指導要領が掲げている問題解決学習に自然と取り組むことができる構成となっている点が良い。

く、他社と比べて、その観点が最も見やすくしてあるため、東京書籍がよいと考える。

委員

小学校5年生の教科書は東京書籍が上下巻に分かれているのに対して、他社は一冊が厚くなっており、持ち運びの観点でも東京書籍が良い。また、図や表が大きなサイズでたくさんに使われているのも良いと感じた。

委員

社会科はいろんな資料やデータが必要になり、それについては、ICTを活用して接していくのが有効だと思う。それをふまえて教科書をみると、東京書籍は配置が多数あるだけでなく、各ページ同じ場所に配置されており、探すことが容易で、多様な動画が準備されている。それに比べ、他社は多様な場所にQRコードが配置されていたり、動画本数が極端に少なかったりする。このことから、東京書籍が最も調べ学習に適しているのではないかと考える。

安藤教育長

社会の教科書について、協議会が選定した東京書籍を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

社会の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

地図の教科書について、協議会が選定した教科書は、帝国書院であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

帝国書院は、地図の陰影が工夫されており、文字を明瞭に読み取ることができるとともに、山地の標高や海底の深度なども簡単に読み取ることができる。さらに都道府県のページを比較してみると、他社は色分けがわかりづらいのに対して、帝国書院は境界線をはっきりと色付けしている。このことから小学校3年生にとっては帝国書院が好ましいと考える。

委員

中部地方のページを比較すると、帝国書院は3ページにわたって愛知県を掲載しており、情報密度が適度で読みやすくなっている。他社は見開き2ページに掲載しており、このことから岡崎で使用するには帝国書院が良いと思う。また、愛知県で盛んな自動車産業に焦点をあて、交通網や輸出入の港に関する資料を掲載しているのが工夫を感じ、学習への資料的価値として帝国書院が秀でていると考える。

委員

帝国書院は、4ページにわたり、防災学習に取り組める特集がされている。他社も3ページ、同じような特集が組まれているが、帝国書院の紙面構成は防災マップ作りができるように、具体的な手順が示されている。小学校4年生の防災単元において役立つと考えられる。

また、どちらの紙面にも地図に親しむためのページが用意されているが、帝国書院のほうが、より探究的に取り組むことがで

きる紙面構成となっているため、小学校3年生の子供が、初めての地図の活用という点で帝国書院が適していると思う。

安藤教育長

地図の教科書について、協議会が選定した帝国書院を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

地図の教科書について、帝国書院を採択することを宣言。

安藤教育長

算数の教科書について、協議会が選定した教科書は、啓林館であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

啓林館の教科書は、子供が自ら課題を見出し、主体的に解決できるような構成となっている。また、問題に対する子供の気づきを「めばえ」として掲載しており、子供から学習課題を引き出す授業展開が一貫しており、毎時間見通しをもって課題解決にあたることができるような構成になっている。また、学校の授業の中での学びだけでなく、個人での学びをより意識したこのような構成は、他社の教科書にはないもののため、啓林館がよいと考える。

委員

各社、すべての教科書にQRコードがついている。iPadなどをQRコードにかざして読み取ることで、その会社の数学のWEBサイトにつながる仕組みになっている。WEBサイトを開いた後は、自分が学習している内容をそのWEBサイトから探して閲覧することになっている。啓林館の教科書のQRコードは、他者の教科書にはない音声付き解説動画があり、個のペースで学びを進めていくことができるという点では他社と比較しても優れていると感じる。

委員

単元を学んだあとに掲載されている「章末問題」について、啓林館の教科書は、問題の横に、その問題が既習内容のどの学習に関連しているかが明記されていることから、問題が解けなかったり、誤解答してしまったりした際に、教科書のどのページのどの学習を復習すればよいかがよくわかる構成のため、振り返りがしやすい工夫がされており、優れていると考える。

安藤教育長

算数の教科書について、協議会が選定した啓林館を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

算数の教科書について、啓林館を採択することを宣言。

安藤教育長

理科の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

理科の学びの意義は、問題解決するための資質・能力を育成することが重要と考える。問題解決を身に付けるには、その過程を丁寧に示すのが重要。東京書籍では、「問題をつかもう」「問

題」「予想しよう」「計画しよう」「実験」「観察」「考察しよう」「まとめ」という問題解決型の学習の流れが位置付けられている。その後には、「広げよう！理科の発想」「次の問題を見つけよう」「理科の世界たんけん部」などが掲載されており、学びを深めたり、身近な事象とつなげたりする工夫がある。また、見やすさも工夫されており、他社に比べて、秀でていると思う。子供は、自然の事物、事象に不思議さを見出すことができれば、主体的に追究しようとする。また、教科書が読みやすければ、子供の知識・理解の高まりが期待できる。東京書籍では、教科書サイズが大きく、インパクトのある写真が掲載されている。文字のフォントについても、サイズが適切で、文章も短く、子供にとって読みやすく、理解しやすいものとなっている。以上から東京書籍が他社に比べて、優れていると考える。

委員

委員

理科学習では「見方・考え方」を働かせて学習の過程を充実させることの重要性が書かれている。東京書籍では、理科の見方・考え方を意識づける言葉がコンパクトにまとめられており、授業で見方・考え方を働かせた授業展開ができるように工夫してある。加えて、キャラクターを添えて見方・考え方が表現されているため、子供は意識的に目を向けることができ、他社と比較しても優れていると感じる。

安藤教育長

理科の教科書について、協議会が選定した東京書籍を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

理科の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

生活の教科書について、協議会が選定した教科書は、光村図書であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

光村図書では全単元が導入、展開、振り返りで構成され、子供が自己決定による体験や主体的な表現活動を行うことができやすい内容になっている。また、見開き完結の構成にしてあるので、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。学びやすい、理解しやすいという面では光村図書がよいと考える。

委員

光村図書では、見やすく柔らかい配色でまとめられており、写真には多様性を認める外国籍の子供を掲載するなど、さまざまな価値観の重要性を考えたり、学びを深めたりするためのきっかけづくりへの工夫が見られる。子供の姿が、絵本作家のユニークなイラストと文章で表現されていたり、ふき出しやイラストを効果的に用いて、子供の気付きや思考を促す工夫があったりと、子供一人一人の意見を元に協働的に学べるよう、配慮されている。こうした点においても、光村図書の教科書が適していると思う。

委員	光村図書では、別冊資料編として「ひろがるせいかつじてん」が用意されている。別冊としてまとめているので、子供にとって使いやすいという側面がある。自然体験で役立つ図鑑的な資料に加え、様々な場面で役立つことができ、加えてQRコードを用いて授業展開をしていけることも光村図書を選ぶ利点と考える。
安藤教育長	生活の教科書について、協議会が選定した光村図書を採択することについて採決（挙手を求める）。 挙手（全員）
安藤教育長	生活の教科書について、光村図書を採択することを宣言。
安藤教育長	音楽の教科書について、協議会が選定した教科書は、教育芸術社であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	教育芸術社では、各題材の指導内容と指導手順がイラストや表で示されていることにより、音楽を専門としない多くの教師が、「何ができるようになればよいか」ということを容易に理解し、指導に生かすことができるようになっている。また、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」といった活動をピクトグラムで示されており、こうした配慮は、指導する際の目安になるとともに、学習を焦点化するうえでも有効に働くと考えることから、教育芸術社の教科書がよいと思う。
委員	教育芸術社のQRコードは他社より工夫されているうえに、すべての教材にQRコードが付いていることから教育芸術社の教科書がよいと考える。
委員	両社ともに日本の音楽では、資料写真や図形譜が使われ、その特徴を子供が捉えやすいように工夫されている。教育芸術社では、前述したことに加えて日本の音楽に関する教材や資料が豊富であり、和楽器、わらべうた、海外の民謡等とのつながりを意識したものになっている。これは、日本の音楽文化を多面的な視点をもって、継承しようとする心を育むことができるような工夫が見られる。これらの視点から、教育芸術社の教科書が適していると考えられる。
安藤教育長	音楽の教科書について、協議会が選定した教育芸術社を採択することについて採決（挙手を求める）。 挙手（全員）
安藤教育長	音楽の教科書について、教育芸術社を採択することを宣言。
安藤教育長	図工の教科書について、協議会が選定した教科書は、開隆堂出版であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	開隆堂の教科書では、学習指導要領に定められた3つの資質能力と学習内容の関連が「学習のめあて」に毎回明示されており、

何を学習すればよいか明瞭になっている。また、3つの力を「くふうさん」「ひらめきさん」「こころさん」とキャラクターで示すことで、子供たちが楽しく目標をもって活動できるように工夫した構成となっている。安全面や片づけに関する注意事項も、イラストや写真で分かりやすく掲載していることから、開隆堂がよいと考える。

委員

図工は安全に道具を使うことが重要である。開隆堂の教科書には、子供が基本的な技能や道具の正しい使い方を身に付けることができるよう、丁寧な説明が施されている。道具に関しても、題材のページで、彫刻刀やペンチなど多くの題材で取り扱う道具については、「学びの資料」として巻末に、それぞれイラストや写真を用いて説明されている。理解のしやすさからも、開隆堂がよいと思う。

委員

各社ともにQRコードが紙面に掲載され、iPadで読み取り、コンテンツにアクセスすることができるようになっている。開隆堂には、見本作品が掲載されているが、立体作品は画像を回転させてさまざまな角度から鑑賞することができる点がよいと考える。また、題材ごとに「作品カード」「振り返りシート」が掲載されており。「作品カード」は子供の作品を展示する際の名札となるが、工夫したところを書き込めるようになっている点がよいと思う。「振り返りシート」は、どんな作品を作ったか、どんな点を工夫したかを振り返ることができるようになっている。こうしたカードやシートをコンテンツに掲載することで、指導教員は作成、印刷する必要がなくなることになる。また、子供たちもiPad上で使用すれば活用しやすくなる。QRコードを活用したコンテンツについても、開隆堂が優れていると思う。

安藤教育長

図工の教科書について、協議会が選定した開隆堂出版を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

図工の教科書について、開隆堂出版を採択することを宣言。

安藤教育長

家庭科の教科書について、協議会が選定した教科書は、開隆堂出版であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

開隆堂の教科書は、題材の始めに「学習のめあて」として3つの学習到達目標やこの題材で働かせる「生活の見方・考え方」の4つの視点の該当するものが分かるように示されている。また、調理実習や作品製作に関連した学習では、できたことを振り返るチェックリストが作られている。子供としては、題材ごとに学習を見通すことができるとともに、自らの達成度を確認しながら学習を進めることができるという点から開隆堂が優れ

ていると感じる。

委員

開隆堂の教科書には、子供が基本的な知識や技能を身に付けるための丁寧な工夫が見られる。例えば、調理実習「みそしるを作ってみよう」や製作実習「ミシンの使い方を知ろう」では、手順が横流れになっていたり、背景の色が工夫してあったりして、とても見やすくなっている。「ミシンの使い方を知ろう」では、ミシンの使い方が他社では数ページにまたがっているが、開隆堂出版は見開き1 ページですべての手順がまとめられているので、実際にミシンを扱いながら、効率的に学習を進めることができると感じる。こうした点からも開隆堂がよいと思う。

委員

開隆堂は、SDGs と関連した環境学習の内容が充実していると感じる。持続可能な生活・社会に向かって身近なところから環境への取組ができるように工夫されている。また、巻末資料では、「キャリアインタビュー」の形で子供に向けたメッセージを掲載している。さまざまな職業があることが伝わるようになっている点もよいと感じた。

安藤教育長

家庭科の教科書について、協議会が選定した開隆堂出版を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

家庭科の教科書について、開隆堂出版を採択することを宣言。

安藤教育長

保健の教科書について、協議会が選定した教科書は、大修館書店であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

大修館書店は、「課題をつかもう」「調べよう・話し合おう」「考えよう」など、各学習時間を3つのステップで構成されている。子供にとって学習の流れが分かりやすく、しっかり学習に取り組む時間が保障され、ゆとりをもって主体的な学習を進めることができると思う。特に、各章の冒頭部分には著名人が登場し、対話形式で学習課題を取り上げており、子供が高い関心をもって学習を始められる工夫がみられる。この点からも大修館書店が適していると思う。

委員

大修館書店は、QRコードを読み込むことにより、簡単に多くのコンテンツにアクセスすることができる。また、その内容もかなり充実しているようにみられる。他社も同様のしくみがあるが、大修館書店の方が量・質ともに優れていると考える。

委員

大修館書店は、ユニバーサルデザインの観点で最も配慮されていると感じる。全体的な色調、文字の大きさ、書体、文字の量、イラストや写真の統一感など、大修館書店の教科書が最も見やすいものとなっていた。どの子供にでも馴染みやすいつくりとなっていることから、大修館書店がよいと思う。

安藤教育長

保健の教科書について、協議会が選定した大修館書店を採択す

ることについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

保健の教科書について、大修館書店を採択することを宣言。

安藤教育長

英語の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

授業の中で、子供がピクチャーディクショナリーを活用している姿を見ている。ピクチャーディクショナリーは「大きく見やすいこと」と「別冊になっていること」が重要だと考え、その点からも東京書籍は優秀だと思う。また、東京書籍の教科書には、巻末に言語活動で使うことができる教材カードが付いており、子供が英語でのコミュニケーションを楽しむ工夫がある。ピクチャーディクショナリーの利便性や教材の工夫に関する点から、東京書籍の教科書が適していると考えます。

委員

東京書籍、開隆堂、光村図書の教科書は4線の上から2本目と3本目の線の間隔が他社の教科書に比べて広く取られている。そのため、より多くの子供にとって見やすく書きやすい文字となっている。更に東京書籍の教科書では、アルファベットの書き順が「くの字矢印」で示されているなど、子供への配慮もなされている。

委員

こうした理由から、東京書籍の教科書がよいと考える。

教科書に使用されている、写真、文字の大きさや文字量においては、東京書籍は特に優れていると思う。臨場感ある写真は子供の興味関心を高めることにつながる。東京書籍の教科書には、各単元の終わりにOver the Horizon（オーバー・ザ・ホライズン）というページが設けられており、子供が海外の文化や日本で活躍する外国人について触れながら、異文化理解を図り、英語を通じて自国の文化を学ぶ観点が優れている。

こうした点から、東京書籍の教科書がよいと考える。

安藤教育長

英語の教科書について、協議会が選定した東京書籍を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

英語の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

道徳の教科書について、協議会が選定した教科書は、光村図書であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

光村図書では、道徳科で学ぶ4つの視点についての教材がバランス良く配置されていると考えられる。各教材が「気づく、考える、つなげる」で構成されており、これを通じて、子供が教材で学んだことを実生活や他教科の学習につなげることを考える学習場面が設定されており、学習そのものを生活に生かすと

いう面で有効だと考えられる。次に全学年で「いじめを許さない心」というテーマの教材が取り扱われている。さらに、周りの人とよりよい関係を築くことのための学習が他社とは異なり、1学期に重点的に配置されている。年度初めに子供が自分の行動を見つめ直したり、相手の気持ちを推察したりすることは、今後の人間関係をよりよく構築していくことの助けになると思う。命の大切さや、他者を思いやる心というのは、人格を形成していく上で重要な要素となりますので、岡崎の子供たちの心を育てるという視点では、光村図書がよいと考える。

委員

光村図書では、他社の教科書に比べ、子供たちが実際の生活の中で体験・経験しそうな場面を取り上げた教材が多く取り上げられている。また、それぞれの教材の多くは、冒頭に導入につながる問いかけが書かれていたり、教材の後ろには、子供の思考を深め、議論を活性化するための発問や、教材を実生活につなげるための問いが記載されていたりしている。光村図書では、子供たちの実生活を取り上げ、さらには「問い」を大切にした構成とすることで、子供は学んだことを自分の生活に置き換えて考える仕掛けが施されていることから光村図書が適していると思う。

委員

光村図書は、道徳の学び方や学びの道筋、振り返りを大切にしている印象を受けた。冒頭には、「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」を3点、4人のチームによる話し合いの写真とともに示されていることは、岡崎市が大切にしている誰一人取り残さないチームによる学びの一つの形につながるという点でも有効であると考え。また、8ページの「道徳みちあんない」は他社にはなく、1年間の学びの道筋を確認できたり、教科書最後にある「学びの記録」を毎時間書くことで、学びの足あとを確認できたりすることから、子供も教師も年間35時間の道徳の授業を見通して計画したり、振り返ったりできる点がよいと思う。このように様々な学びの仕掛けを通じて、考え、議論することで深い学びにつなげる力を育めることから、光村図書がよいと思う。

安藤教育長

道徳の教科書について、協議会が選定した光村図書を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

道徳の教科書について、光村図書を採択することを宣言。

安藤教育長

中学校の教科書について、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定に基づき、協議会は令和5年度と同一の教科用図書を選定していることを説明。

安藤教育長

中学校の教科書について、協議会が選定した令和5年度と同一

の教科書を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

中学校の教科書について、協議会が選定した令和5年度と同一の教科書を採択することを宣言。

安藤教育長

令和6年度に使用する全ての小中学校教科用図書採択が終了したことを宣言。

安藤教育長

上原委員の入室を許可する。

（上原委員入室）

安藤教育長

上原委員へ第19号議案について、原案のとおり可決したことを報告。

■ 日程第4 第20号議案

教科用図書採択地区について

（秘密会）

岡崎市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、ここに署名する。

令和5年7月31日

教育委員会教育長 安藤 直哉

教育長職務代理者 岡田 京子

(略称表)

発行者略称	発行者略称
東京書籍 株式会社	東 書
大日本図書 株式会社	大日本
教育図書 株式会社	教 図
開隆堂出版 株式会社	開隆堂
学校図書 株式会社	学 図
株式会社 三省堂	三省堂
教育出版 株式会社	教 出
株式会社 教育芸術社	教 芸
光村図書出版 株式会社	光 村
株式会社 帝国書院	帝 国
株式会社 大修館書店	大修館
株式会社 新興出版社啓林館	啓林館
株式会社 山川出版社	山 川
数研出版 株式会社	数 研
日本文教出版 株式会社	日 文
株式会社 学研教育みらい	学 研
株式会社 自由社	自由社
株式会社 育鵬社	育鵬社
株式会社 学び舎	学び舎
あかつき教育図書 株式会社	あかつき
日本教科書 株式会社	日 科